

市民に寄り添い 共に歩むまちづくりを

上越市長 小菅 淳一

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、昨年11月に上越市長に就任してからこの間、市民の皆様から託された思いを胸に、全身全霊をかけて市政運営に取り組んでいるところであります。

現在、当市は、本格的な人口減少社会を迎える中、長引く物価高騰を始め、地域社会の維持・活性化や医療体制の確保、災害への備え、地域産業の活性化と人材の確保、女性の活躍支援、子育てや福祉の充実、多様な学びの推進など、さまざまな課題に直面しております。

本年の干支「午」は、その躍動感から物事の前進や新たな挑戦に適した年であるとも言われており、年頭に当たり改めて、市民一人一人に寄り添いながら、幅広い分野の行政課題に積極果敢に取り組み、安心して心豊かに暮らせるまちづくりを推進していくことをお誓い申し上げます。

皆様にとりまして、この一年が健康で幸福と安寧に包まれた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

このまちを未来へつないでいくために

上越市議会議長 渡邊 隆

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては希望に輝く新年を迎えていたことに、市議会を代表して心よりお慶び申し上げます。

昨年は、平成17年の14市町村の合併から20年の節目を迎えるとともに、高田城址公園観桜会や謙信公祭が100回目の開催となるなど、記念すべき年でありました。

一方、記録的酷暑・少雨などによる渇水、局地的豪雨や突風被害の発生など、自然の

猛威が市民生活に大きな影響をもたらした年でもありました。

取り巻く状勢に目を転じても、激甚化・頻発化する自然災害をはじめ、人口減少や少子高齢化の進行、物価高騰やデジタル化の進展など対応すべき多くの課題があり、先の読めない不確実性も増しています。

二元代表制の一翼を担う市議会といたしましては、喫緊の課題に迅速に対応していくため、令和8年度から通年会期制の導入に取り組むことと

いたしました。本年も引き続き議会改革を進めるとともに、市民の皆様の多様な意見の反映に努め、「市民により開かれた議会」「信頼される議会」「市民の信託に応える議会」を深化させ、『力強くもしなやかさ』を持って、このまちを未来へつないでいくために鋭意取り組みを進めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして健やかで幸せに満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



3 2026・1 広報 じょうえつ